

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	異文化コミュニケーション
科目基礎情報					
科目番号	0015		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	環境システム工学専攻		対象学年	専1	
開設期	後期		週時間数	後期:2	
教科書/教材	教科書: Kyoko Yashiro他「What Do You Mean? - Exploring Communication Gap」(金星堂)				
担当教員	佐藤 奈々恵				
到達目標					
<p>1. 異文化コミュニケーションをテーマにした英文を読み、英文の意味とその内容の本質を正しく理解した上で、それらを日本語で説明できる。</p> <p>2. 自国文化と他国文化の差異や共通項に気づき、異文化間の相互理解・共生のための知識や態度を身につけることができる。</p> <p>3. グループプレゼンテーション活動において、チームで協力しながら文献・資料収集などの発表準備を行い、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的な発表ができる。</p> <p>4. 異文化理解のための外国語運用能力向上を図るものとして、TOEICスコア450-500点程度を取得するために必要な基礎力を確認できる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	異文化コミュニケーションをテーマにした英文を読み、英文の意味とその内容の本質を正しく理解した上で、それらを日本語で説明できる。		異文化コミュニケーションをテーマにした英文を読み、英文の意味とその内容の本質を概ね理解した上で、それらを日本語で説明できる。		異文化コミュニケーションをテーマにした英文を読み、英文の意味とその内容の本質を理解した上で、それらを日本語で説明できない。
評価項目2	自国文化と他国文化の差異や共通項に気づき、異文化間の相互理解・共生のための十分な知識や態度を身につけることができる。		自国文化と他国文化の差異や共通項に気づき、異文化間の相互理解・共生のための基本的な知識や態度を身につけることができる。		自国文化と他国文化の差異や共通項に気づき、異文化間の相互理解・共生のための知識や態度を身につけることができない。
評価項目3	グループプレゼンテーション活動において、チームで協力しながら文献・資料収集などの発表準備を行い、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的な発表ができる。		グループプレゼンテーション活動において、チームで協力しながら文献・資料収集などの発表準備を行い、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた発表ができる。		グループプレゼンテーション活動において、チームで協力しながら文献・資料収集などの発表準備を行い、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた発表ができない。
評価項目4	異文化理解のための外国語運用能力向上を図るものとして、TOEICスコア450-500点程度を取得するために必要な基礎力を確認できる。		異文化理解のための外国語運用能力向上を図るものとして、TOEICスコア450-500点程度の取得を目指すことができる基礎力を確認できる。		異文化理解のための外国語運用能力向上を図るものとして、TOEICスコア450-500点程度の取得を目指すことができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	異文化間のコミュニケーションについて書かれた英文を読み、異文化コミュニケーションが潜在的に抱える問題点について考察するとともに、他国文化と自国文化の比較を通して、異文化理解と多文化共生について理解を深める。また、異文化理解のための外国語運用能力向上を図るものとして、TOEICスコア450-500点程度を取得するために必要な基礎力の定着を目指す。				
授業の進め方・方法	<p>1. 学生は、テキストの各ユニットの内容と関連事項についてグループでプレゼンテーションを行う。</p> <p>2. ユニットごとに本文の内容理解や語彙・文法を問う小テストを実施する。</p> <p>3. TOEIC形式の問題演習を適宜行い、TOEICスコア450-500点程度を取得するために必要な基礎力の定着を図る。</p>				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション	授業のねらいを理解し、それに基づいて今後の学習計画を立てることができる。	
		2週	<Nonverbal Communication> Unit 1. The Japanese Bow	Unit 1 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。	
		3週	Unit 2. Smiles	Unit 2 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	
		4週	Unit 3. Eye Contact	Unit 3 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	
		5週	Unit 5. Hand Gesture	Unit 5 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	
		6週	Unit 6. Body Movements	Unit 6 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	
		7週	Unit 7. Space	Unit 7 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。	
		8週	達成度確認試験	これまでの学習内容を整理することができる。	

4thQ	9週	TOEIC問題演習	英語学力テスト (TOEIC-IP) に向け、TOEICテストの問題演習に取り組み、問題の要点を理解することができる。現時点における自分の英語力を把握し、今後の学習計画を立てることができる。
	10週	<Verbal Communication> Unit 8. Same Words Different Meaning	Unit 8 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	11週	Unit 9. Intonation	Unit 9 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	12週	Unit 11. Personal or Contextual	Unit 11 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	13週	Unit 12. Goal or Process Oriented	Unit 12 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	14週	Unit 13. Sarcasm	Unit 13 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	15週	Unit 14. Politically Correct	Unit 14 の英文を理解し、外国文化と自国文化の違いを理解・考察できる。英文の内容とそれに関連する事項について、聞き手が理解しやすい工夫を取り入れた効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
	16週	定期試験	これまでの学習内容を整理することができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合

	試験	プレゼンテーション	小テスト・課題など	合計
総合評価割合	50	30	20	100
基礎的能力	50	30	20	100